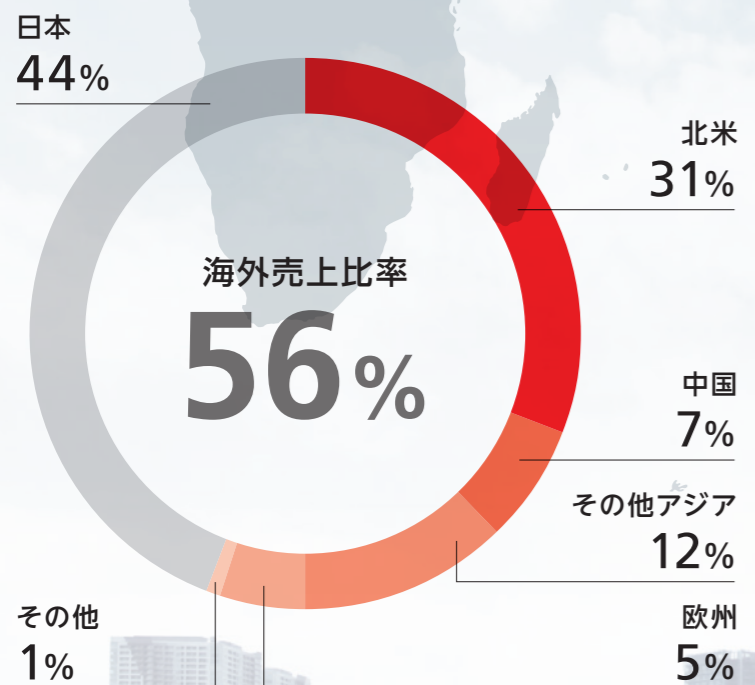
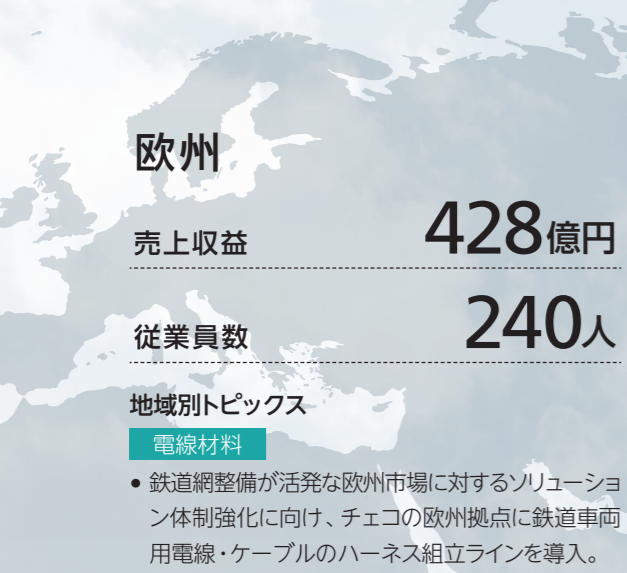


グローバル展開

日立金属グループは、各国・地域における固有の環境規制強化やインフラ整備などをビジネスチャンスと捉え、グローバル市場へ製品を提供することにより、それぞれの市場での成長をめざしています。海外売上比率は56%であり、グローバルな高機能材料会社としてのポジションを確立しています。

2016年度 地域別事業規模



中国

売上収益 **627億円**

従業員数 **3,294人**

地域別トピックス

特殊鋼

- 温度特性に優れた車載用ソフトフェライトコア材料と高周波特性に優れた新しいソフトフェライトコア材料を開発。日本および日立金属(香港)有限公司番禺工場で生産。
- 自動車エンジン向けのステンレス鋼ピストンリング材の需要拡大に対して、日本および蘇州の拠点で製造ラインを増強。ピストンリング材のグローバル供給体制強化を推進。

磁性材料

- 日立金属三環磁材(南通)有限公司を設立。ネオジム磁石の原材料調達から製造・販売までの一貫体制を構築し、日本と同一品質で競争力のある製品を実現。

電線材料

- 鉄道用電線事業強化に向けて、蘇州の中国拠点に新製造ライン導入。

その他アジア

売上収益 **1,115億円**

従業員数 **5,325人**

地域別トピックス

特殊鋼

- 工具鋼のグローバル拡販施策の一環として、韓国およびタイ、台湾の各拠点で切断・加工能力を増強するとともに、アジア市場におけるソリューション営業体制の強化を推進。

日本

売上収益 **4,036億円**

従業員数 **12,296人**

地域別トピックス

特殊鋼

- ナノ結晶軟質磁性材料ファインメット®およびアモルファス合金Metglas®を使用した100kW超級高周波電力変換器用ブロックコアを開発。
- 日立金属工具鋼株式会社において工具鋼の表面処理工場を開設し、複合PVD技術Tribec®コーティングの表面処理設備を増強。工具鋼のソリューション営業体制強化を加速。
- 軟磁性部材事業の研究開発強化に向け、日立フェライト電子株式会社に研究開発機能の集約・増強を実施。
- 株式会社日立メタルプレジジョンにおいて、精密鋳造タービンホイールの生産能力を増強。急増するガソリンターボエンジン需要に対応。
- クラッド材事業強化に向け、株式会社SHカッププロダクツと株式会社日立金属ネオマテリアルを2018年4月統合予定。

磁性材料

- 熊谷磁材工場にネオジム磁石とフェライト磁石の革新的生産ラインを導入。さらに磁性材料研究所も熊谷地区へ移転し、工場と一体となって顧客ニーズを捉えた技術開発を加速。

素形材

- 急増するガソリンターボエンジン需要に向け、九州工場において耐熱鋳造部品ハーキュナイト®の生産能力を増強。

北米

売上収益 **2,768億円**

従業員数 **6,774人**

地域別トピックス

素形材

- 北米自動車鋳物事業のシナジー拡大に向け、Waupaca Foundry, Inc.を存続会社としてHitachi Metals Automotive Components USA, LLCを2016年4月吸収合併。両社の強みを生かした最適生産再配置と拡販を推進。
- Waupaca Foundry, Inc.において、ダクタイル鋳鉄、Gray Iron専用工場化による品質・生産効率向上。

※地域別トピックス 2016年4月～2017年6月末現在